

2021年度
地球環境『自然学』講座
第14回

テーマ

木版画の世界

講 師

第1部 木版画家 牧野 宗則 先生

第2部 木版画家 風鈴丸 先生

2021年11月13日

認定NPO法人・シニア自然大学校

講師プロフィール

牧野 宗則（まきの むねのり）



1. 経歴

- 1940 静岡市に生まれる
- 1983 阪急うめだ本店個展（以後7回開催）
- 1986 ジョスリン美術館作品展（米国）
- 1988 第10回ニューヨークアートエキスポ
- 1989 第1回川村賞受賞
- 1992 「北斎・広重からの華麗なる展開—牧野宗則木版画展」
（浮世絵太田記念美術館 1999/2009）
- 1993 伊勢丹美術館個展（新宿）
- 1997 棟方志功・牧野宗則二人展」（九州六県で巡回展）
- 1999 神戸阪急ミュージアム個展、掛川市二の丸美術館個展（2009）
- 2001 静岡市教育文化功労者
- 2003 文化庁長官表彰受賞
- 2007 「伝統木版画300年の奇蹟—牧野宗則展」（長崎新聞社主催）
- 2008 富士山静岡空港ロビーに大型陶板壁画制作
- 2009 「beyond Hokusai and Hiroshige—牧野宗則木版画展」
（ニューヨーク・ニッポンクラブギャラリー）
- 2017 「パリ万博から150年のジャポニズム—牧野宗則木版画展」（阪急うめだ本店）
- 2018 「伝統と革新—牧野宗則木版画展」（銀座和光ホール）
「牧野宗則木版画展」（松阪屋名古屋店）
- 2020 「牧野宗則・風鈴丸ふたり展」（フェルケール博物館/静岡市）

2. 現職

木版画家

3. 著書

- 「牧野宗則木版画集」阿部出版 1987年
- 「北斎・広重からの華麗なる展開—牧野宗則木版画展図録」大田記念美術館 1992年
- 「牧野宗則自選木版画集」阿部出版 1992年
- 「牧野宗則木版画図録」大田記念美術館 1997年
- 「北斎・広重からの華麗なる展開—牧野宗則全木版画集」阿部出版 2009年
- 「浮世絵太田記念美術館収蔵—牧野宗則全木版画集」太田記念美術館 2009年

— 伝統木版画で描く自然の美 —

有明海から富士山へ

木版画家 牧野 宗則

1. 絵を描く喜び、伝統木版画との出会い

- ・ 絵は人に喜びを与える。
- ・ 中学生時代、北斎・広重の浮世絵版画に魅せられる。
- ・ 浮世絵展の会場で、浮世絵版画の摺りの実体験をする。
- ・ 高校生時代、京都の摺師を訪ねて伝統木版画の技法修得を始める。
- ・ 以後約 20 年かけて技法修得と新しい技法の研究を続ける。

2. 伝統木版画と創作木版画の二つの流れ

◇伝統木版画とは

- ・ 浮世絵版画に代表される世界に誇る日本の木版芸術。
- ・ 庶民の楽しみのための商業出版で大量制作・大量販売された。
- ・ 版元の下で、絵師、彫師、摺師による分業で制作された。

◇創作木版画とは

- ・ 分業制作ではなく、作家の自由な表現が最も大切にされた。
- ・ 自画、自刻、自摺を良しとする。

3. 伝統木版画と創作木版画の融合をめざして、プロの木版画家として

スタートする。

4. 伝統への挑戦

- ・浮世絵版画の長所と短所を研究し、美の追求を始める。

5. 有明海との出会い

- ・1984年、初めて有明海諫早湾を訪れる。
- ・有明海は潮の干満が激しく、素朴で豊かな海。日本の海の名風景である。
- ・魅せられて、約15年かけて“有明海シリーズ”を制作する。

6. 印象派画家たちの浮世絵版画へのあこがれ

- ・浮世絵はジャポニズムとして、印象派の画家たちを中心に、西洋の芸術発展に多大な貢献をしました。

7. 富士山を描く

- ・静岡の風景木版画家として、北斎・広重の描いた富士山には表現されなかった美しい富士山を描くことは当初からの大きな目標でした。

8. 牧野宗則ブロックス・アート®の誕生

- ・牧野版画を生み出した版木をカットし、美しい部分のみを組み合わせ、版木の美しさのみで表現した新しいアートを発表する。

9. 私の木版画づくりの中心にあるもの

講師プロフィール

風鈴丸（ふうりんまる）



1. 経歴

静岡生まれの木版画家。父は木版画家の牧野宗則。

夢と現実のはざまに浮かぶ心象世界を、自作の詩とともに伝統木版多色摺りで描く。

鮮やかな色彩と不思議ななつかしさをもつ独自の世界観は幅広い年齢層からの支持を受け、木版画の新たなジャンルを築く。武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒業

1995 新宿伊勢丹で最年少で個展開催。以後隔年個展

山形屋百貨店（鹿児島市）個展

1999 日本平美術館（静岡市）個展（川村文化振興財団主催）

2002 東急Bunkamura Garellly（渋谷）で個展を開催。以後隔年で個展開催

2009・2011 日本生命のカレンダーに作品が起用される

2010 絵本「ぎゅうにゅう太郎とまよなかのでんしゃ」刊行

2011 裾野市制40周年記念「風鈴丸作品展」（裾野市・裾野市教育委員会主催）

2015 静岡市芸術文化奨励賞受賞

2016 静岡大学で木版画特別実技講座

2017 ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市）で「ネイチャー&アート実験 風鈴丸作品展 星の教室」

2020 フェルケール博物館（静岡市）で「牧野宗則 風鈴丸ふたり展」開催

阪急うめだ本店 個展

松坂屋名古屋店本店 個展

2021 銀座和光・和光ホールで牧野宗則・風鈴丸二人展

2. 現職

木版画家

3. 著書

画集「なんというしあわせ」 阿部出版

絵本「ぎゅうにゅう太郎とまよなかのでんしゃ」 静岡新聞社

「夢みるちから」

1. 木版画の制作

伝統木版画の多色摺りの技法を用いて作品を制作しています。伝統木版画では絵師・彫り師・摺り師の分業で行われていましたが、全ての過程を1人で制作しています。基本的に1色につき1枚の版木を彫りますから、10色使いたい場合は10枚の版木を彫らなくてはなりません。また、その10枚の版木を使ってぼかしを摺ったり違う色を重ねたりと、版木の数以上の摺りを重ねていきます。版木は主に朴、山桜、シナを使います。

【画像】作品「夜のマント」の摺り順と制作過程

作品の説明と摺りの実演の様子

2. 発想の源

どのようにして絵を描いているのか、発想の源は何なのかとよく質問されることがあります。私は子供の頃からよく夢を見ます。毎日夜に見るその夢は、色もあり音もあり触感も香りもあり、5感全てを使って見るため本当に体験したかようになります。そしてその時に会った不思議な生き物や世界を作品にしています。絵の中に詩が書かれているものもありますが、これはスケッチをしているときに聞こえてくる言葉を書きとめて、絵と同時に出来上がるため作品の中に入れて表現しています。

3. なぜ木版画家になったのか

子どもの頃から絵が大好きで、いつも絵を描いているような子どもでした。美術に関わる何かをしたいと思い美術大学に行きましたが、木版画家になろうとは思っていませんでした。父の仕事を見て育ちましたので、あんなにきつい仕事は自分には無理だしやりたくないと思い、自分には何が向いているのか探し続けていました。大学4年生になった時、学園祭で初めてブースをもらい個展を開き木版画の作品も展示しましたが、その時初めて自分のやりたかったことは木版画だったのかもしれないと気づきました。

“風鈴丸”という少し変わった作家名は家族会議で決めました。男女の区別がなく、どんな人なのかなと思わせるような正体不明な感じ、そして当時夏の夕方がいちばん好きな季節でしたので、風鈴なら風も吹いて音も聴こえてくるのでいいねということで“風鈴丸”となりました。

4. 星の教室

ふじのくに地球環境史ミュージアムで個展を開催いたしました。芸術と科学は同じものを目指しているという観点から企画された「ネイチャー×アート実験 風鈴丸 作品展 星の教室」という、博物館で美術展を企画するという大変珍しい展示会でした。作品の中にはたくさんの植物や昆虫、星や月など宇宙が描かれています。展示室の中を宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」に登場する星の教室をイメージし、昆虫学者の先生が作品に合わせた標本を作り、植物の標本を作り、学校の机の上には顕微鏡が置かれ花粉などを見ることができ、鉱物の標本が置かれ、壁面には風鈴丸の作品が飾られているという、とても楽しい展示でした。

5. 絵本の世界

絵本「ぎゅうにゅう太郎とまよなかのでんしゃ」を出版しています。“ぼく”と猫の“あやさん”は大の仲良し。不思議な妖精、ぎゅうにゅう太郎といつも遊んでいた。あやさんがいなくなってしまうと悲しい気持ちで眠っていると、ある夜、廊下を電車が走っている?! . . . という内容です。

【画像】絵本のあらすじ紹介

そしてこの絵本の世界を、幼稚園の子どもたちがより大きな世界をつくりあげてくれました。想像のエネルギーの真っ直ぐさと強さはすばらしいです。

【画像】豊田幼稚園造形展

制作の様子と完成した造形展の様子の紹介

6. 壁画の制作

今までにいくつかの大きな壁画を制作しています。壁画の制作は通常の作品制作とは全く違った制作方法となりますが、見る方がより明るく、より安心する、そんな絵を心がけて制作しています。

【画像】静岡済生会病院小児外来の壁画 制作の様子

なでしこ保育園外壁の壁画 制作の様子